

大津市における歴史的風土について

比叡山を中心とした区域（日吉大社、比叡山延暦寺、周辺の樹林地、坂本伝建地区を含む地域）

- 《保存の主体》 比叡山延暦寺と一体となり、また日吉大社、坂本伝統的建造物群保存地区、西教寺と一体となって歴史的風土を形成する比叡山の樹林地
- 《地区の位置付け》 世界文化遺産である延暦寺と一体となった樹林地であるとともに、学術的にも貴重な自然環境を有する。
- 《主な視点場》 なぎさ公園、日吉大社に通ずる道路（坂本）

大津京遺跡後背地を中心とする区域（近江大津宮錦織遺跡の後背地、崇福寺跡を含む地域）

- 《保存の主体》 かつて近江大津京の京域があったとされる市街地（近江大津宮錦織遺跡、南滋賀町廃寺跡、穴太廃寺跡を含む）山腹部の崇福寺跡と一体となって歴史的風土を形成する壺笠山～宇佐山～千石岳にかけての一連の樹林地
- 《地区の位置付け》 大津京の背後の山並みであり、関連する遺跡・史跡と一体となって歴史的景観を形成する。
- 《主な視点場》 なぎさ公園、園城寺観音堂、比叡山ドライブウェイ展望台

三井寺（園城寺）を中心とした区域（園城寺、周辺の樹林地を含む地域）

- 《保存の主体》 山麓部の園城寺と一体となって歴史的風土を形成する長等山の樹林地
- 《地区の位置付け》 大津京に関連する遺跡と一体となって歴史的景観を形成するとともに、園城寺と長等山の樹林が一体となった景観は「三井の晩鐘」として近江八景と位置付けられている。
- 《主な視点場》 柳が崎、疏水付近

石山寺・瀬田川を中心とした区域（石山寺、背後の樹林地、瀬田川を含む地域）

- 《保存の主体》 大津の代表的な景観の一つである瀬田川東岸（唐橋付近～石山寺対岸）から南西方向を望む景観を形成し、石山寺と一体となって歴史的風土を形成する伽藍山の樹林地及びその前面の瀬田川
- 《地区の位置付け》 石山寺及び瀬田川の水面と一体となって歴史的景観を形成するとともに、石山寺と伽藍山が一体となった景観は「石山の秋月」として近江八景と位置付けられている。
- 《主な視点場》 唐橋公園、瀬田川東岸（石山寺対岸付近）